

## ●文化財市民講座「伊豆の国市の歴史を辿る」(入門編)

古代から幕末期にわたり、さまざまな時代の歴史文化資源が重層的に蓄積する伊豆の国市。その歴史の全体像を学ぶ講座です。

全体を通じて入門編という位置付けで、市職員が解説します。



とき／①3月5日(土)13時30分～16時、②3月12日(土)13時30分～16時、  
③3月19日(土)10時～16時

ところ／あやめ会館3階多目的ホール、葦山反射炉、守山周辺 ほか

内容／

	時間	ところ	テーマ(中心となる文化財など)
第1回 (3月5日)	13時30分～16時	あやめ会館3階 多目的ホール	概論 原始・古代Ⅰ(山木遺跡) 原始・古代Ⅱ(北江間横穴群)
第2回 (3月12日)	13時30分～16時		中世Ⅰ(鎌倉北条氏関連遺跡) 中世Ⅱ(葦山城跡)
第3回 (3月19日)	10時～12時	葦山反射炉、守山周辺 ほか	近世(葦山代官江川家関係資料) 近代(葦山反射炉)
	13時30分～16時		伊豆の国歴史ガイドの会による ガイドツアー

対象／市民

定員／各回100人 ※応募者多数の場合は抽選

料金／無料(ただし、第3回のガイドツアー時の施設入場料は参加者負担)

申込／往復はがきに次の必要事項を記入し、2月16日(水)必着で申し込みください。

応募者全ての①受講希望回、②氏名(フリガナ)、③住所、④電話番号、  
⑤その他(車いすの有無など)

応募先：〒410-2292 伊豆の国市長岡346-1 あやめ会館2階  
伊豆の国市文化財課内「文化財市民講座」係宛

結果通知／2月中旬発送(抽選後、返信はがきによる)



## ●いずのくに大使・大塚良重さんによる朗読のゆうべ 「八重姫哀歌」

2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にも登場する八重姫と源頼朝。ふたりの物語を、いずのくに大使・大塚良重さんの叙情豊かな朗読と、紙切り作家・水口千令さんの切り絵のコラボレーションでお送りします。

朗読終了後には、大塚さん、水口さんと学芸員が物語のこぼれ話を会話形式でお届けします。



とき／3月26日(土)17時～18時30分(開場16時30分)

ところ／葦山時代劇場大ホール

内容／朗読「八重姫哀歌」(大塚良重・水口千令)  
クロストーク「八重姫こぼれ話」  
(大塚良重・水口千令・学芸員)

対象／どなたでも

定員／200人 ※応募者多数の場合は抽選(市民優先)

料金／無料

申込／往復はがきに次の必要事項を記入し、3月4日(金)必着で申し込みください。

応募者全ての①氏名(フリガナ)、②住所、③電話番号、  
④その他(車いすの有無など)

応募先：〒410-2292 伊豆の国市長岡346-1  
あやめ会館2階

伊豆の国市文化財課内「朗読のゆうべ」係宛

結果通知／3月中旬発送(抽選後、返信はがきによる)

その他／伊豆の頼朝にまつわる様々な場面を描いた岩井玉水氏の絵画展「頼朝旗揚げ物語」も併せてご覧ください。(4月22日(金)まで伊豆の国市郷土資料館で開催中)

# 文化財課からのお知らせ

## ～大河ドラマ放映を機に、改めて伊豆の国市の歴史を学ぶ～

文化財課 ☎055-948-1428

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映を契機に、武士の世の始まりの地として全国から大きな注目を浴びる伊豆の国市。

伊豆の国市は、中世のみならず、古代から幕末期にわたってさまざまな時代の歴史文化資源が重層的に蓄積し、日本を動かす歴史の舞台となってきました。

そこで、この機会に改めて広く市内の歴史や文化を学んでいただくことを目的として、シンポジウムや市民講座、朗読のゆうべを開催します。  
※いずれの催しも、当市を対象区域とする緊急事態宣言が発令されている場合には、開催を中止するほか、状況により実施内容などを変更する場合があります。

## ●葦山城跡シンポジウム

### 「上杉謙信逝く 葦山城が戦場になるのはなぜ？」

令和7年度の国史跡指定に向けてさまざまな取組を進めている葦山城跡について、市民が広くその価値を理解し、保存・活用に向けた機運を高めることを目的にシンポジウムを開催します。

文献に残された当時の情勢や、発掘調査により確認された痕跡から明らかになってきたことなどをもとに、講演やパネルディスカッションを通じてテーマに迫ります。

とき／2月23日(水・祝)13時～16時30分(開場12時30分)

ところ／アクシスカつらぎ大ホール

内容／

講師	テーマ
齋藤慎一(東京都江戸東京博物館)	趣旨説明
竹井英文(東北学院大学)	また武田がやってきた！ —謙信死後の政治変動と葦山城周辺地域—
望月保宏(静岡古城研究会)	合戦の動向と駿東・北伊豆の城 ～その時、葦山城は…～
木村聡(沼津市教育委員会)	葦山城を守った海の城 ～伊豆長浜城と駿河湾海戦～
パネルディスカッション	上杉謙信逝く 葦山城が戦場になるのはなぜ？

対象／どなたでも

定員／375人 ※応募者多数の場合は抽選(市民優先)

料金／無料(当日資料を300円で販売)

申込／往復はがきに次の必要事項を記入し、2月10日(木)必着で申し込みください。

応募者全ての①氏名(フリガナ)、②住所、③電話番号、  
④その他(車いすの有無など)

応募先：〒410-2292 伊豆の国市長岡346-1 あやめ会館2階  
伊豆の国市文化財課内「葦山城跡シンポジウム」係宛

結果通知／2月15日(火)発送(抽選後、返信はがきによる)

